



福山市立旭小学校3年
令和7年6月3日 No.3

意欲的に学習に取り組んでいます



進級して約2カ月が経ちました。子どもたちは元気に、そして、興味・関心をもって学習しています。

3年生では、社会や理科、総合的な学習など新しい科目が増えました。総合的な学習では、タブレットを使って意欲的に調べ学習をし、パソコン操作にも慣れてきています。一方で国語科では夢中になって国語辞典を引いて言葉を検索する姿も見られます。デジタルとアナログを有効に使い分けながら学習を進めていきたいと思っています。

家庭学習では、毎日「音読」を出しています。目で見て声に出し、耳で聞くことは言語の習得において大切な学習活動だと考えています。また、家庭学習は学習の定着はもちろん、毎日続けることで継続力も身に付きます。「自分で工夫し、楽しく学べる3年生」を目指して、まず、私自身が指導や声掛けを工夫していきたいと思っています。

学習の様子



理 科

「チョウを育てよう」「植物の育ち方」では、生き物の成長の様子を知るだけでなく、命の大切さも学んでいます。世話をしている中、生きられなかった幼虫の姿や水やりを通して、命を預かることについて考える機会にもなっ

ています。さなぎから羽化したチョウを見たときに、「わぁ！」という喜びの声が上がり、元気に飛び立ったときには、拍手をしていました。



草をぬいて、土をたがやして…



水をたっぷりと…
そうじも大事だね。



どれどれ、どんなふうに変ったかな？
このネバネバは何かな？



さなぎは、さ
に
い
る
か
な？



チョウさん、元気でね！

～作文より～

「大切にそだてた よう虫」

理科でよう虫をそだてることになりました。はじめて虫をそだてるから、わくわくしました。よく見ると毛がありました。べん強をして、モンシロチョウはキャベツにたまごをうむことがわかりました。キャベツをいっぱい食べて、よう虫は元気いっぱいでした。

ある日、一ぴきがさなぎになりました。さなぎになった一ぴきは、やがて、モンシロチョウになりました。そして、よう虫はつぎつぎと、さなぎになりました。今日は、ぜんいんが、さなぎになっていました。早くモンシロチョウになってほしいです。

「あと ちょっと」

今、育てているよう虫はさなぎになり、あとちょっとでチョウになります。さなぎの長さは1cmくらいでした。まへは元気にキャベツを食べていたのに、ふしぎなようにじっとしているので、よう虫だったとは思えません。つぎの進化はチョウになって空を飛ぶようになるんだと思いました。生きているってすごいなと思い、ぼくもがんばろうと心からきめました。できるだけ育てていきたいです。

「花のなえうえ」

まへの理科のじゅぎょうで、花のなえうえをしました。まず、ぐん手がある人は草とりをして、ぐん手がない人はスコップで土をやわらかくしました。わたしは、草とりをしました。

つぎに、ペアでなえをうえしました。わたしのペアは和田さんでした。二人でヒマワリをうえしました。うえる時はポットに入っていた土がやわらかくて、ひっくりかえす時にくずれそうだったけれど、上手にうえられました。そのあと、やさしく土をかぶせてあげました。

さいごに水をかけました。ちゃんと元気にそだってほしいです。

お願い

授業で使用しているノートで、5mm方眼のもの（算数、社会、自主）については、お家の方で、買い足しをお願いいたします。